

製品名: PD-L2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15923**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	PDCD1LG2 B7DC CD273 PDCD1L2 PDL2
別名	Programmed cell death 1 ligand 2 (PD-1 ligand 2;PD-L2;PDCD1 ligand 2;Programmed death ligand 2;Butyrophilin B7-DC;B7-DC;CD antigen CD273)
遺伝子 ID	80380.0
SwissProt ID	Q9BQ51
免疫原	AA 範囲: 31-80 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

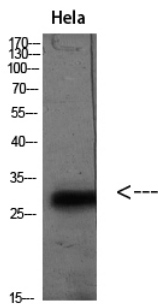
機能: PDCD1 非依存的に T 細胞の増殖と IFNG 産生に不可欠な共刺激シグナルに関与する。PDCD1 との相互作用は、細胞周期の進

行とサイトカイン産生を阻害することでT細胞の増殖を阻害する。誘導: 単球におけるIFNG刺激によって上方制御され、末梢血単核細胞からCSF2およびIL4とともに培養した樹状細胞でも誘導される。類似性: 免疫グロブリンスーパーファミリーに属する。BTN/MOGファミリー。類似性:1つのIg様C2型(免疫グロブリン様)ドメインを含む。類似性:1つのIg様V型(免疫グロブリン様)ドメインを含む。サブユニット:PDCD1と相互作用する。組織特異性:心臓、胎盤、脾臓、肺、肝臓で高度に発現し、脾臓、リンパ節、胸腺で弱く発現する。機能:PDCD1非依存的にT細胞の増殖とIFNG産生に不可欠な共刺激シグナルに関与する。PDCD1との相互作用は、細胞周期の進行とサイトカイン産生を阻害することでT細胞の増殖を阻害する。誘導:単球におけるIFNG刺激によって上方制御され、CSF2およびIL4を含む末梢血単核細胞から増殖した樹状細胞上で誘導される。類似性:免疫グロブリンスーパーファミリーに属します。BTN/MOGファミリー。類似性:Ig様C2型(免疫グロブリン様)ドメインを1つ含みます。類似性:Ig様V型(免疫グロブリン様)ドメインを1つ含みます。サブユニット:PDCD1と相互作用します。組織特異性:心臓、胎盤、脾臓、肺、肝臓で高度に発現し、脾臓、リンパ節、胸腺で弱く発現します。、

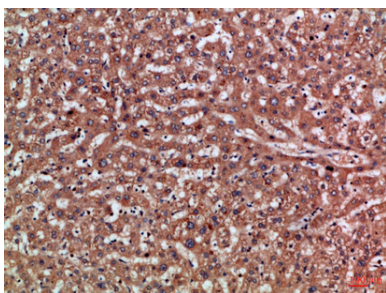
研究分野

細胞接着分子 (CAM)

画像データ



Hela (TSA 400nM 24時間) ライセートのウェスタンブロット分析、抗体は2000に希釈されました。二次抗体は1:20000に希釈されました。



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は1:100に希釈された